

一方通行の教授観を取り払う

教職研修

月刊

The Kyosoku Kenku
July 2023
Vol.51-11
Whole Number 611

学校現場の挑戦に、勇気とアイデアを。

【巻頭インタビュー】

不便だから、考える——「不便益」のススメ

川上浩司(京都先端科学大学教授)

【特集1】

子どもと教師で築く「学びの土台」

——「教わる」「教える」垣根をとり、ともに探る豊かな学びを

【特集2】

「対話」の場のつくりかた

東京都練馬区立北町中学校
2022年、3年ぶりに全校生徒が集まる文化祭。そこで、「子供を笑顔にするプロジェクト」で芸人のミキさんをお呼びしました。当日まで生徒たちには、シークレットで迎えました。歓声ではなく、驚きでフリーズ状態でした。



写真de
学校探訪

編集顧問

市川昭午
若井彌一
天笠茂
小川正人

教職研修

2023年7月

【特集1】子どもと教師で築く「学びの土台」
【特集2】「対話」の場のつくりかた

編集人 ● 岡本淳之
発行人 ● 福山孝弘
発行所 ● 教育開発研究所

〒113-0033 東京都文京区本郷2-15-13
TEL 03(3)815-7041(代) ● FAX 03(3)816-2488
● 印刷所 ● 協光社 ● 定価1200円(本体1091円+税)

教育開発研究所

論文試験の合格対策が全て学べる1冊!



2024 学校管理職選考

合格論文 対策集

最新刊!



【編集】学校管理職研究会
A5判 / 288頁 / 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

予想問題
37文例

頻出問題
83文例

合格論文12の基本
2024重要キーワード
都道府県別出題テーマ

- ★ウェルビーイング、改訂生徒指導提要、「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について(答申)、新たな研修制度、心理的安全性、個別最適な学び・協働的な学び、GIGAスクール、働き方改革などに関連した重要テーマを多数収録!
- ★今年度出題が予想される重要テーマや全国の頻出テーマに関する解答論文120例を、解答のポイント・アレンジのヒントとともに掲載!
- ★2024年度出題予想テーマとキーワード、論文を書く基本、都道府県別出題傾向も収録!

管理職選考合格対策シリーズ



2024 学校管理職選考 試験問題集

合格に必要な知識と
解答力が身につく!
【編集】学校管理職研究会 A5判 / 416頁
定価3,190円(本体2,900円+税10%)



2024 学校管理職選考 答える力が必ず身につく 合格ノート

“ざっくりメモ”で答える力が身につく!
【著】大江近(編集) 学校管理職研究会 B5判 / 144頁
定価2,310円(本体2,100円+税10%)



2024 学校管理職選考 完全要点 整理

合格に必要な
法知識が身につく!
【編集】学校管理職研究会 A5判 / 424頁
定価3,190円(本体2,900円+税10%)



2024 学校管理職選考 面接合格 対策集

合格する答え方が
よくわかる!
【編集】学校管理職研究会 A5判 / 256頁
定価2,860円(本体2,600円+税10%)

ご注文は、小社、Amazon、書店まで。小社は送料無料・即日発送!(午後3時注文分まで・土日祝日除く)

WEBからのご注文なら早くてカンタン!

■ オンラインショップ: 教育開発研究所 検索

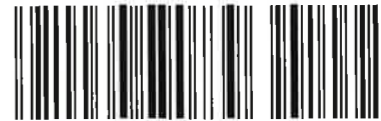


電話 03-3815-7041

無料FAX 0120-462-488

定価 1200円
本体 1091円 + 税

雑誌 03059-07



4910030590739
01091



京都先端科学大学教授 川上浩司

不便だから、考える

「不利益」のススメ

【編集部】

スマホが登場し、私たちの生活は劇的に便利で効率的になりました。もはやスマホ以前の生活に戻れないという人も多いのではないのでしょうか。さらに今後、CARPOOLやオート車の自動運転、メタバースなど便利で効率的な社会をめざして、日々新たなサービス・商品が開発・提供されています。そのこと自体はありがたいですが、他方で私たちは「自分で考える」「自分で工夫してやる」機会が少なくなっていくのでしょうか。学校では「自分で考え、行動する力」の育成がめざされていますが、便利さ・効率性を追求し続ける社会において、どう考えればよいのでしょうか。「不便」のなかにも「益」があるという「不利益」を研究している川上先生にお話をうかがいました。

便利さ・効率性を追求する社会

▼後戻りできない

今の社会は、便利であること、効率的であることをひたすら追求していますが、この流れは不可逆的なのでしょうか。

全体としてはこの流れは変わらないでしょうね。分野によっては、「古きよき時代に戻れ」と言う人が常にいますから、流れが止まったり停滞したりすることはあるかもしれませんが、また新たな技術に抵抗感を示す人も一定数はいますから、パッと社会が変わることはない

▼便利であることの気持ち悪さ

「ご著書に「便利であることに気持ち悪さも感じる」とあります。

まず、人の能力が不要になることです。たとえば外国人が日本に来て生活をするとき、今は電子マネーで買える物ができるし電車にも乗れますから、日本語を話す必要がありません。少し話す機会があっても、スマホの自動翻訳で十分です。人が外国語を話す必要がない、話すための能力がいらなくなるのです。

- 近年の教育界動向がこの1冊でまるわかり!
- 「教育法規改正早見表」収録!

答申・通知のポイントが3分でわかる
マップ&シートで速攻理解!

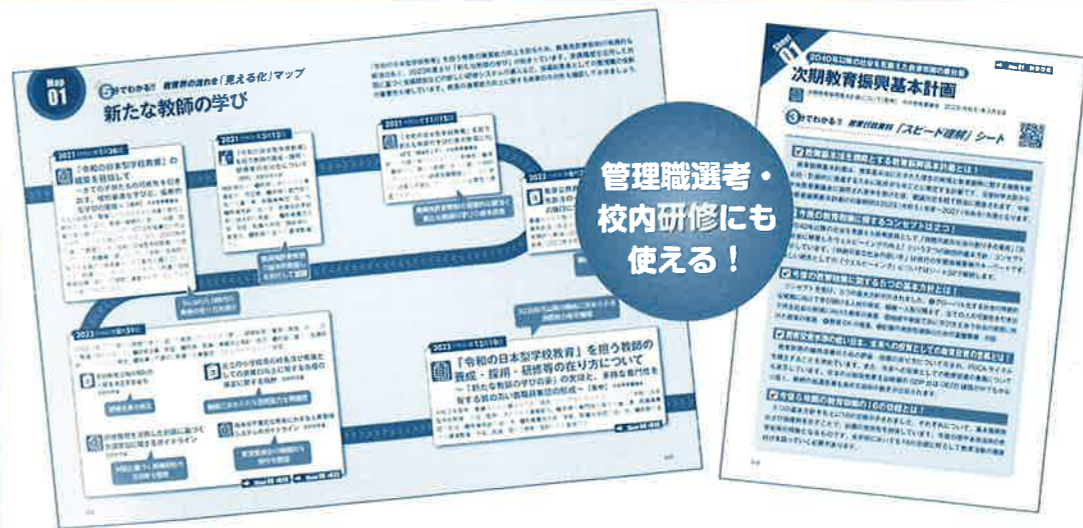
最新の教育改革 2023-2024

編集 金子一彦 (東京学芸大学教職大学院特任教授)
B5判 / 216頁 / 2色刷 / 定価 2,530円 (税込)

6/23
発売!



見える化マップ&スピード理解シートで 教育界の動向をすばやくキャッチ!



管理職選考・
校内研修にも
使える!

■本書の主な内容——学校管理職・管理職志望者必須の知識を総まとめ!

次期教育振興基本計画/ウェルビーイングの確保・向上/こども基本法/新たな教師の学びの姿/校長・教員の資質向上指針/対話に基づく研修奨励/令和の日本型学校教育/個別最適な学び/ICTの活用/デジタル教科書/生徒指導提要/校則の見直し/働き方改革/労働安全衛生管理/部活動の地域移行/特別支援教育を担う人材育成/通級指導/学習指導要領の方向性/学習評価・指導要録/学校安全推進計画/危機管理マニュアル/感染症対策/地域との連携・協働/コミュニティ・スクールの設置/わいせつ教員対策/パワー・ハラスメント防止/会計年度任用職員制度/いじめ防止基本方針/重大事態調査/不登校児童生徒支援/教育機会確保/児童虐待対応/外国人児童生徒/子どもの貧困/性同一性障害/主権者教育の推進/大学入学共通テスト



教育開発研究所

★ご注文は、お電話、FAX、ホームページにて承ります。

TEL: 03-3815-7041 FAX: 0120-462-488 <https://www.kyouiku-kaihatu.co.jp/>

もちろん便利な状況ではありませんが、ここに人と人との交流はありません。人との交流がないのであれば、その人特有の能力をつける必要がなくなるのです。また、せっかく外国から日本にきている意味も薄れますね。世の中が均質化されてしまい、その人特有の能力を発揮する場面がなくなります。自分でも誰でもいいことだらけになります。結果、多様性の時代と言われながら、デコボコがなくなっていくます。

もう一つは、実体のない人工的な約束事だらけになり、人々がそれに気づかされないことについてです。たとえば「お金」です。硬貨や紙幣に価値があるというのは、実は単なる人々の約束事でしょうか。ですから歴史を見ても、突然その紙切れに価値がなくなる、ということが起こるのです。その最たるものは仮想通貨です。このような実体のない人工的なものを完全に信じ切り、乗っかってしまうことへの怖さがあります。

さらに、機械を信じるほかに術がない状態を受け容れざるを得ないことへの気持ち悪さもありません。便利さを追求していると、物事が自動化されることが多いです。人はスイッチを入れるだけ。もしかするとスイッチを入れることさえ自動化されるかもしれません。

人はただそこにいるだけで、何もなくてよい。この自動化の弊害は、「ブラックボックス化」です。なぜこうなっているのかわかりません。故障しても直せませんし、何が起きるかわからないという怖さもあります。

たとえば、車の自動運転がレベル4以上になると、運転は車に任せられるしかありません。すべての車が自動運転になれば渋滞は解消されるかもしれませんし、事故も減るかもしれませんが、人はただ乗っているだけ。そうすると、「もう運転しなくてもよい」が、やがて「運転してはいけない」にならないでしょうか。自分で手を動かすという営みを禁止される世の中になってしまっているのか。それによって楽しくないですよ。自動化ではなく、自分で運転する選択肢も残してほしいです。

— ChatGPTが上手にプログラミングのコードを書けるという話もありました。むしろ、人間が書くミスが起こるから、と。

確かにそこそこきれいなコードを書いています。こんな状況は嫌だと言っても、もうできてしまった技術を禁止することはできません。ただ、これも運転と同じで、人間が自分の頭を使ってコードを書くという選択肢は残っていないのです。全部自動化されると楽しくないですから。「人間ならではの人

ならではのコード」というものに価値を見出すことができれどと思えます。

「不利益」とは

▼便利だと人は変わらない

「不利益」について研究していらっしやいます。どういうものなのでしょうか。

「不利益」とは、「不便」じゃないと得られない利益です。不便に人は引かかります。考え始めます。工夫しようと思えます。人と話すので場が活性化されます。このように、現代のものさしからは「不便」と思われがちなのに「益」を見出すのが、「不利益」です。

「便利」なこと世の中にあふれています。それで社会が「豊か」になったかというところ、けっしてそうではありません。変化が早すぎてついていけない人たちの不満を代弁しているわけはありません。便利の波に乗ったとしても豊かな感じがせず、むしろ何か失われている気がする。ですから私は、あえて「不便であるからこそ得られる益」である「不利益」を研究しているのです。

ただし、「不利益」は「古きよき時代に戻れ」という懐古趣味ではありません。もちろんこれを否定はしませんが、私はあくまで不便だからこそその効用が得られる、新しいシステム

をデザインするための方法論をつくりたいと思っています。

それは、日々の生活を「不利益」という視点でとらえ、発想を転換する思考法でもあります。「当たり前」だと思っていることを見つめ直すこと。本当に必要かどうかを問いたず目を持つこと。「不便から得られる益」を考えることは、日常生活における発想の転換にもつながるのです。

「便利になる」ということは、人自身ではなく周りの環境を人に合わせて変えている、ということ。便利になると、手間がかからず、人は頭を使わなくてよくなります。便利だと人は「変わらざるに済む」のですが、これは実は「変われずにいさせられている」だけ



不利益の発想から生まれた京都大学オリジナルグッズの「素数ものさし」

かもしれません。変わる能力を発揮する機会を奪われているのです。不便が与える益の一つは、手間をかけた頭を使わされるという不便は自分を変えてくれる、ということなのです。ですから、これもよく勘違いされるのですが、「不便だけど我慢しないといけない」という話ではまったくありません。これは何も楽しくありませんから。

— 変わらない組織では「ずっとこうしているんだから」「みんな我慢してるんだから」という「不便」が温存されていそうです。

そこに益はないですよ。そういう不便はよくありません。効率化していいものは便利なツールを使ってどんどん効率化し、その時間を益のある不便を見出して、それを楽しむことに当たっていただきたいです。

▼バリアフリー

「不利益」の事例を、ご紹介ください。

まず、バリアフリーです。バリアフリーの逆の発想なんです。山口県にあるデイケアセンターでは、段差や坂、階段などの日常的なちょっとしたバリアがあえて配置されています。それによって、日常生活が自然に身体を鍛える場となり、身体能力が衰えるスピードが低減されるそうです。

確かに、あらゆる移動に段差がなく、手す

りもあるバリアフリーは便利ですが、身体能力が低下しても安全に暮らせる環境では、体が鈍る一方です。人の「できる能力」がどんどん奪われていくんですね。

この施設では、スタッフはあまり入居者に手をさしのべないようにしています。でもきちんと見守っていて、これ以上は危ないという場面を見極めて初めて手をさしのべるのです。このスキルを身につけるのはむずかしいこともあって、バリアフリーの施設はなかなか全国に広まっています。

もちろん、バリアフリーが「不利益」として効果があるからといって、世の中にバリアが残っているのもいい、というわけではありません。身体能力の衰えを低減させるレベルのバリアで、なおかつスタッフがいざとなればサポートできるようにデザインされたバリアだからこそ、効果があるのです。

— 学校でも、子どもが安心して学べる環境をまず用意し、教師がいざとなれば適切にサポートすることがめざされています。

そうですね。東京都立川市のある幼稚園では、ちょっとした不便をわざとつくっているそうです。照明は裸電球でひもを引っ張ってつけたり消したりしますし、水道の蛇口も自分でひねって水を出します。園庭と園舎の

間の戸は引き戸で、それも簡単に閉まらず、最後に少し力をいれることでしっかりと戸を閉められるようになっていきます。こうした体験を通して、物事をきちんとするという癖づけにつなげているそうです。

また、芝生の中庭もあえてデコボコにしてあります。園児が転び痛い思いをすることで、どうやったら転ばないかを自分で考え、自分の体を使って学んでいくそうです。この幼稚園では、不便を、子どもの体験、自らの行動と思考という成長につなげているのです。

▼不便であれば何でもよい、ではない

「不便であればなんでもよいというわけではないのですね。」

そうです。「古きよき時代に戻れ」の懐古趣味だと、いい不便と悪い不便を見分けることができません。私だってスマホは使っていませんが冷蔵庫もパソコンも使いますし、自動車も運転します。「不便益」のように「不便であることの益」があります。同様に、「便利であることの害」もある一方で、「便利であることの害」もあるのです。たとえば、機械に安全装置という「便利」をつけることで、人間側が安心してしまい、危険行動が誘発されることも現実にあります。

▼「楽」ではなく「楽しい」を

「川上先生は「楽しい」ことを重視していらっしゃるのですね。」

だって楽しいほうがいいでしょう(笑)。「便利」は確かに「楽」になるけど、楽しくありません。私は、「楽だけど楽しくない」ではなく、「楽じゃないけど楽しい」を選びたいと思っています。ですからあえて、浅はかな便利を追求するだけでは必ずしも益を得ることはできない、と主張しているのです。

教育と「不便益」

▼「不便益」の八つの「益」

「学校において「不便益」をどう考えればよいでしょうか。」

私は「不便益」には八つの「益」があると整理しています。①主体性が持てる、②工夫できる、③発見できる、④対象が理解できる、⑤安心・信頼できる、⑥上達できる、⑦私だけ感、⑧能力低下を防ぐ、です。

たとえば①主体性が持てるとは、「やらされてる」の反対です。不便な物事は、主体的に何かをすることを許してくれるものが多いのです。反対に便利な物事は、人に自由はあまりなく「やらされている」状態になります。先ほどのバリアフリーの施設も、不便なバ

アは、過介護Ⅱ「やらされている」からの解放だとも言えます。過介護とは、デイケアセンターの利用者の主体性を奪うものです。

また、不便なやり方は、やっていることを「自分ごと」にするものも多いです。たとえば電車の運転台です。運転士がアナログな時計を運転台に持ち込んでめ込んでいる光景を見たことがありますか？ この時計は、運転士が時刻合わせもするそうです。これは不便ですよ。

ですが、デジタルの時計があらかじめ運転台にはめ込んであると、もし停電したときに時計も止まってしまいます。また電波時計であっても、運転席の機器が発生する電磁波でくるってしまうリスクもあるそうです。

なにより、運転士の心構えのために、自分で時計を合わせて運転台にはめ込んでいるのでしょうか。まさにこのことによって時刻管理が「自分ごと」になるのです。

②は先ほどの幼稚園の話がまさにそうですが、園庭がデコボコだから園児は自分の体の使い方を工夫します。③は、②の前段階です。バイクで通勤すると早いし便利ですが、途中で自分好みのカフェに偶然入るチャンスは訪れません。紙の辞書で、調べたかった単語とは違う単語が目に入るのも、電子辞書で調べ

たり検索するのとは違う発見がありますね。

「いずれも学校教育でまさに必要と言われることと感じます。非認知能力の発達にも効果がありそうです。」

そうかもしれません。私はあれこれ勝手に「不便益」認定をしているのですが、そのなかには意欲にかかわるものが多いです。不便な方法をうまく使うと、人の意欲が上がるのです。意欲が上がるとスキルが上がります、仕事を楽しめる。逆に言うと、意欲が上がらない「不便」は「不便であることの害」だということがわかります。そんな仕事ばかりにならないようにしたいですね。

▼学習とは

私は「学習」とは、自分が変わることになりアリティを与える作業だと考えています。たとえばかつて、「睡眠学習枕」という商品が

ありました。寝ている間にずっと英単語が流れてきて、いつの間にか覚えていきますよ、というものです。あるいは今後、頭に直接記憶メディアを埋め込んで、知識量が増えるという技術も可能になるかもしれません。

でも、もしそれで本当に覚えられたとして、楽しいでしょうか？ 人は学ぶことによって変わっていきますが、いつの間にか変わっていきはリアリティがありません。そうではなく、「あのときこうやって学んだから、今、自分が変わったんだ」というリアリティを伴った記憶が必要で、それが学習だと思っています。それがないと、自分の存在自体のリアリティがなくなってしまう。

▼授業でひっかかりを

「授業のあり方についてはいかがですか。」
初等中等教育の教育内容は、今の世の中について知るために、社会に出て行くために必要なものであると理解しています。

もし、教育も利便性・効率性二辺倒なら、たとえば歴史の教育は不要だとなっているかもしれません。ですが、歴史を学ぶことも社会に出て行くために必要だとされているからこそ、教育課程に含まれているのだと思います。

ただし、教えられるほうとしては、「こん

なの勉強しても無駄なのでは」と思っていると、やっぱりつまらないですよ。私も実は中・高生のころ、歴史を無理やり教えられることに反発していました。ただ、大学生になって京都に住むと、街のなかに歴史が点在していることに気づき、興味がわいてきたのです。教科書を覚えるだけでなく、現代にも残る歴史を見ることで、「学びたい」という意欲がわいてきました。

みなさんもすでにされているとは思いますが、このように、授業では子どもがまず興味を持てる体験や仕掛けが必要だと思います。また、理想を言えば、わかりにくく、引っかかりが多くて、自分で調べようという気になる授業がよいと思っています。引っかかり、先生にどんな質問ができるような。

ただ、現実問題、すべての教育内容にそんな体験や仕掛けを用意することはむずかしいです。40人の子どものほとんど質問してきいたら授業は進みませんよ。せつかく引っかかりがあっても、子どもはわからないまま授業が終わってしまいます。

引っかかりのある理想的な授業をインタラクティブに行えるためには、教育内容がもっと少なく、少人数であるなどの環境が必要です。

[プロフィール]

かわかみ・ひろし

1964年生まれ。京都大学工学部、同工学研究科修了。京都大学博士(工学)。岡山大学助手、京都大学助教授・特定教授を経て京都先端科学大学工学部教授。不便益の研究で学会論文賞・出版賞多数。著書に『不便益という発想』インプレス、2017年、『不便益のススメ』岩波書店、2019年など多数。

2023年

7

この機会にTwitterを始めてみませんか？
教育開発研究所のページはこちら。



装純で楽しむ
日本の伝統色

7月号：若菜色

初春の若菜のような、明るい黄緑色。春の七草の別名としても親しまれ、『枕草子』『源氏物語』『百人一首』などに登場します。

巻頭インタビュー

不便だから、考える

——「不利益」のススメ 川上浩司

3

特集1

子どもと教師で築く「学びの土台」

——「教わる」「教える」垣根をとり、ともに探る豊かな学びを

- 組織文化とアンラーンの観点から考える、学びの土台 中竹竜二 20
- 変わらない教員も認め、信じ、待つ校長の姿 中山大嘉俊 23
- 「教わる」と「教える」の両義性で成り立つ保育の営み 佐々木見 24
- 子どもや保護者が話を聞いてくれない、という前に 赤塚枝美 26
- 「子どものために教える」思想にとらわれ過ぎない 村瀬公胤 29
- 飲み込むだけの「対話」の不健全さを吹き飛ばせ！ 赤坂真二 30
- 困った子と思ったら、「自分研究」してみませんか？ 森村美和子 32
- 教科書「を」「で」教える／学ぶのいい塩梅 北 俊夫 34

管理職選考突破！講座 116

速報！管理職選考問題 118

面接問題①

合格への道／頻出法規・客観問題の演習／頻出教育調査の傾向／最新告示・通達の提要／頻出面接問題の演習

実践演習！論文添削講座 129

教育法規 | スクールロイヤーと考える学校経営(4) 神内 聡 42
法律で読み解く学校経営プロブレム(112) 坂田 仰 62

教育行政・施策 | 行政職員日記(4) 西 祐樹 61
地方から始まる学びの変革 細田真由美 64
講座 教育行政入門(28) 小川正人 106
学校総論——改めて学校とは何か(20) 市川昭午 108

コラム | 七転八起 次世代管理職(4) 和空照笑 15
やわらかキョウイクアタマ(16) 赤木和重 60
@教育相談室(40) 坂下たま子 78
宿しておきたい親子・先生のはなし(28) 富田富士也 114

- 気になる！教育関連用語解説 林 向達 69
- きょういくパノラマ(28)／教職いろはがるた(40) みたちまみ 80
- ブックレビュー&ガイド 112
- 校長会・教頭会 事務局の中から 115
- 教職研修フォーラム 136
- 保護者レンズを通して見ると 前田裕子／パウロタスク 137

特集2

「対話」の場のつくりかた

対話の実践に向けて 熊平美香 88

教職員による対話の場をいかにしてつくるか
——哲学対話の考え方に基づいて 角田将太郎 91

「校内研修」で対話の場をつくる

①校内研修・研究の真ん中に対話をおく 村上聡恵 94

②焦らず弛まず「対話」し、自らが変わる喜びを知る 加藤敏行 96

学校マネジメント・学校経営 | みんなの「権利」を大切に作る学校(4) 真下麻里子 11
「令和の日本型学校教育」が問う学校経営(4) 天笠 茂 38
OODAループで学校改善12カ月(4) 喜名朝博 40
フキゲンな職員室の労働安全衛生を見直そう。(4) 大石 智 44
妹尾さんに聞きたい！学校お悩み相談室(28) 妹尾昌俊 46
今月の学校経営 今野 忠／山川佳美 48
校長のネットワーク力(4) 大坪真哉 50
学校づくりのスパイス——異分野の知に学べ(64) 武井敦史 52
子どもを支える武器になる！
令和の「特別支援教育の視点」(4) 大西孝志 76
特別寄稿：「公立学校における労働安全衛生管理体制の事例集」の活用 小川正人 81

教育課程 | こども学習指導要領(4) 石井英真 98
生涯エージェンシー宣言！
「自己実現」と「社会」の切り離せない関係(4) 木村 優 100
ひらかれた授業をつくる(4) 小林宏己 102
教育×デジタル新潮流(4) 田村恭久 104

管理職の資質・職務 | みんなに伝えたい「ことば」(64) 木村泰子 10
私の学校経営信条 稲上敏男 12
教頭の挑戦(16) 尾花桃代 14
この「失敗」が私を成長させた(99) 澤田 靖 51
これからの校長の資質・能力(4) 町支大祐 54
「声かけ」で学校を動かす！北石原校長の12カ月(52) 渡辺秀貴 56
副校長・教頭を楽しむ(4) 奥 雅美 58

児童・生徒 | コロナ禍の子どもたち(4) 宮後宏美／五十嵐多恵 73
不登校の論点(4) 天棚シノコ 74

教育時事 | 教育の断面 永海 俊 16
新・教育直言(45) 浅田和伸 18
教育ニュースPick up 深津 誠 66
(深堀り・先読み) 教育ニュース 渡辺敦司 70
教育備忘録 72
フィンランド見聞録——幸せの国の学校現場から(4) 徳留宏紀 79
データ駆動型社会における「人間」と「教育」(40)
石井英真／間篠剛留／松浦良充／江口 潔 110

「教職研修」定期購読のご案内 84

今月の新刊 86

「教職研修」2023年8月号予告・編集後記 137